

平成30年7月豪雨災害支援活動報告会

今年6月下旬から7月上旬にかけて西日本を中心に記録的な豪雨が襲い、これまでに経験したことない大雨となり、70以上の市区町村で災害救助法が適用され、西日本の広域で河川の氾濫や土砂災害など各地で甚大な被害をもらしました。

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）や全国災害ボランティア活動支援団体ネットワーク（JVOAD）では、発災当日から翌日にかけて現地に関係者を派遣し、現地の状況を把握するとともに、関係機関と連携いながら災害ボランティアセンターの運営支援や支援活動団体間の情報共有会議の場づくりなど企業等からのご支援を受けて、被災者支援活動を実施してまいりました。

今回の報告会では、支援P・JVOADの支援活動をご報告させていただくとともに、2カ月以上が経過し、緊急救援期から次のフェーズへと移り変わる被災地の現状と課題、今後の継続的な支援に向けて被災地の「今」をお伝えしながら、行政、社協、企業、NPO等様々なセクター間にて情報共有、意見交換をする機会とします。

また、この間に相次いで発生した台風21号、北海道胆振東部地震における被災地の現状についてもご報告いたします。

平成30年9月25日（火） 17:30～19:30

TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
カンファレンスルーム9C

東京都中央区京橋1-7-1戸田ビルディング

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyo-yaesu/access/>

■参加費無料

○現地状況の報告

- ・7月豪雨災害の支援活動の状況について
- ・台風21号、北海道胆振東部地震の支援活動状況について

○支援活動の報告

- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議による支援活動状況について
- ・全国災害ボランティア支援団体ネットワークによる支援活動状況について

○ディスカッション

- ・西日本豪雨の現状の課題と今後の支援について



日時・会場

内容

コーディネーター

主催・共催

報告者

- 岡山、広島、愛媛の現地活動者（調整中）
- 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）
- 特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）コーディネーター
- 特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
代表理事 栗田 暢之 氏

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）

企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等により構成されるネットワーク組織。平常時は、災害支援に関わる調査・研究、人材育成や啓発活動を行い、災害時は多様な機関・組織・関係者などが連携・協働して被災者支援活動を実施しています。

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）

災害時の被災者支援の地域、分野、セクターを超えた関係者同士の連携の促進および支援環境の整備を目指し、官と民、民間団体同士の連携を作り出し、情報の集約と広域でのコーディネートをするための仕組みづくり等を実施しています。

参加申込方法

メールにて、「お名前」「ご所属先」「E-mailアドレス」「電話番号」「ご住所」をご記入の上、下記期日までにお申し込みください。

※申込みの個人情報は、本報告会の運営及び必要なご連絡にのみ利用いたしますが、当日資料として参加者名簿に「所属」および「ご氏名」のみ掲載をさせていただきます。

※参加申込締切日 平成30年9月20日（木）

お申込み先: kikin@c.akaihane.or.jp

<お問い合わせ、お申込み先>

社会福祉法人 中央共同募金会 基金事業部（担当：土橋・金尾・作道）
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階
TEL:03-3581-3846 FAX:03-3581-5755